

ロジスティクス環境会議

第3回省資源ロジスティクス推進委員会 議事録

・日 時：2004年3月24日（水） 10：00～12：00

・場 所：東京・港区 芝パークホテル 別館2F アイビー

・出席者：36名

・議 案：

- 1) 今後の委員会の活動と運営について
- 2) その他

・開 会

定刻、山本委員長により、開会が宣された。

・省資源ロジスティクス推進委員会の活動概要について【資料1】

山本委員長より、資料1に基づき、第2回委員会にて承認がなされた活動概要（計画案）について、説明ならびに確認がなされた。

・議事の経過

1. 議 事

山本委員長の司会進行のもと、以下のような議事が行われた。

1) 今後の委員会の活動と運営について【資料2、資料3】

事務局より、資料2に基づき、事前の正副委員長ミーティングおよび各メンバーの意見収集によってまとめられた、分科会（グループ）構成案および事例集の編集方針と構成案について説明が行われた後、以下のような意見交換がなされた。

【意見交換の主な内容】

【委 員】事例集の作成のために行なうアンケートは、他委員会にも行なうのか。

【事務局】まずは、当委員会内に留め、当委員会以外のメンバーの事例を加えなければならぬ部分が出てきたい際に、他委員会への協力要請を検討したい。

【委 員】建設業としての立場としては、メンバー構成から見ても具体的な成果を出すことが難しい。事業として3PL事業を展開しており、その立場で参画していきたいと考えている。

【委 員】運営的な面を考慮した場合、A案の3グループ程度が妥当ではないか。

2) アンケート調査票について【参考資料1】

山本委員長より、参考資料に基づき、アンケート調査票の説明がなされた後、以下のような意見交換が行なわれた。

【意見交換の主な内容】

- 【委員】アンケートフォームについては、タイトル 目的(ねらい) 施策 効果 今後の課題 のようにした方が良いのではないかと。
- 【委員】モーダルシフトについては、国土交通省(関東運輸局)でまとめているものがある。事例集に活用しても良いのではないかと。
- 【事務局】行政との連携は行いたい、当委員会で作成しようとしている事例集は、実務の中で役立つものにしてほしいという各メンバーの意見からも、行政でまとめたものとは切り口が異なるのではないかと。そのため、当委員会として独自のものを作成していきたいと考えている。行政の情報については、ガイドラインや提言を作成する際に活用していきたい。
- 【委員】国土交通省でまとめたものは、施策と効果の記載しかない。当委員会でポイントにしようとしている、プロセスに関する記載がないため、当委員会では問題点等を掘り下げていきたい。
- 【委員】物流企業向けのフォームも改めて加えて方が良いのではないかと。社内向けなのか、荷主企業に対する提案になるのか程度の区別をして欲しい。
- 【委員】アンケートの詳細項目については、分科会のグループに分かれた際にメンバーで共通認識を図ったうえで、検討しても良いのではないかと。
- 【委員】分科会形式で議論を行なうにあたり、事前にメンバー同士が各社で目指す方向性等を把握した方が良いのではないかと。事例集のアンケートに入る前に、全メンバーに簡単に自己紹介票のようなものを書いてもらい、次回分科会に分かれて議論する際は、それを把握したうえで意見交換した方が良いのではないかと。
- 【委員】各論に入る前の議論に時間がかかり過ぎではないかと。予定を前倒して欲しい。

以上のような意見交換が行われた後、正副委員長により以下のような確認がなされた。

- 1) 分科会のグループ構成は、以下(A案)のとおりとし、第4回委員会までに、分科会の登録を行う。
 - (1)食品・流通グループ
(対象業種：食品・卸売・農林水産・流通)
 - (2)機械器具・精密機器グループ
(対象業種：機械器具・精密機器・輸送用機械器具・電機機械器具)
 - (3)素材グループ(化学・鉄鋼)
- 2) メンバー同士がコミュニケーションを図りやすいようにするため、各社で目指す方向性等を簡単にまとめていただく。
- 3) 第4回委員会の後半から、分科会毎に分かれて事例集の検討に入る。

3) その他

今後のスケジュールについて

第3回委員会は、次のとおり開催することが確認された。

日時：2004年4月26日(月)14:00~17:00

会場：芝パークホテル 本館3F 牡丹

2. 閉会

以上をもって全ての議事を終了し、山本委員長は閉会を宣した。

以上